

# よっかいち 市議会 だより

2月定例月議会号



四日市の魅力を  
知ってほしい



感染対策も  
意識して  
災害に備えたい



環境問題を  
みんなで考えたい



※写真は事前勉強会の様子

コロナ禍で高校生議会は開催できませんでしたが  
高校生の思いや考えを意見書にとりまとめました。



市議会HP  
情報発信中!

# 高校生から意見書が提出されました ～四日市市議会高校生議会～

令和3年1月に開催を予定していた高校生議会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止となりました。

第3回目の開催となる今回は、北勢地域の高校9校から32名の申し込みがありました。

議場に集まったの本会議、委員会の開催はできませんでしたが、高校生の思いをかたちとして残すため、書面で意見を出し合い、意見書にまとめ、議長に提出しました。

## 10月 事前勉強会

高校生議員はテーマごとに3つの委員会に分かれ、2日間に分けて勉強会を行いました。

新型コロナウイルスの感染対策を行いながらの勉強会になりましたが、積極的に意見を出し合い、しっかりとテーマについて議論しました。



## 11月 意見シート提出

勉強会での議論を踏まえて、それぞれが自分の意見を意見シートにまとめました。



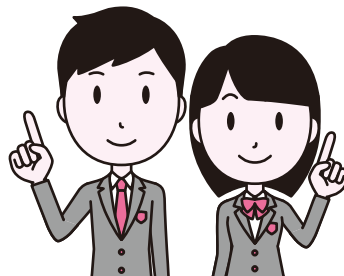
## 1月 書面協議で意見書を作成

意見シートで出された意見をもとに、書面でやり取りしながら、意見書を作成しました。



## 2月 意見書提出

完成した意見書を議長に提出しました。



高校生議長を務めていただく予定だった四日市南高校の伊藤悠真さんに感想を聞きました。

### Q 高校生議会に参加しようと思った理由は？

ニュースでは感じる事ができない、市議会議員の熱意を肌で感じてみたいと思いました。

また、生まれ育った四日市の将来のためにできることを自分たちで考えて、その意見を直接、市議会議員の方々に話すことができることも魅力的だと思いました。

### Q 四日市がどんなまちになったらいい？

さまざまな世代が住みたくなるようなまちになったらいいと思います。

各世代に合った独自のサービスが充実し、活性化した商店街でたくさんの人々が行き交うような笑顔あふれるまちが理想です。

議場や委員会室に集まったのができず大変残念でしたが、皆さんそれぞれの思いが意見書として提出していただけたことは、本当にうれしく思います。未来を担う皆さんにとって、今回の経験が糧となりますように願うとともに、四日市のためにこれからも議会が一丸となってがんばります。 四日市市議会

四日市市議会では、皆さんの思いを議員間で共有しました。P26へ

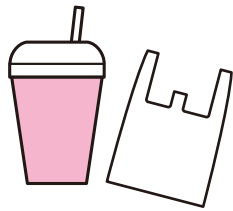
# 高校生から提出された意見書をご紹介します（一部要約）

全文はHPへ



## テーマ1 環境保全・ごみ問題

- ①プラスチック製品の使用削減について、市の明確な目標を定め、市民に分かりやすく発信するとともに、マイバック利用など、市民一人ひとりの意識向上につながる周知啓発を、学校や企業と協力して行うこと。
- ②プラスチックごみ等の発生を抑制するため、箸、ストローの有料化やごみの削減を進める企業活動を支援すること。  
また、市民と企業を巻き込んで協力してごみを削減できる仕組みをつくること。



- ③デポジット制のペットボトル回収箱の普及促進など、ペットボトル回収の取り組みを強化するとともに、エコポイント制度の導入やグッズの配付など、市民が継続して取り組む仕組みをつくること。
- ④高齢者や障害者など、ごみ出しが困難な世帯を支援するため、ボランティアを募り、若い世代も含めた地域での助け合いの仕組みづくりや遅い時間帯でもヘルパー等がごみ出しできる時間設定など、サービスをさらに充実させる取り組みを検討すること。



## テーマ2 複合災害対策

- ①感染症が流行する中、避難所運営において専門的な立場から適切な判断を行うために、保健師の確保に努めるとともに、分かりやすい避難所運営ガイドラインを整備すること。また、有事の際の指揮命令系統を明確にすること。
- ②大規模災害時の避難所運営に感染症対策の視点を加え、感染症対策を徹底しながらもプライバシーへの配慮に努め、ホテルへの避難や車中泊、テント泊といった手法も含めてさまざまな状況に対応できる避難方法を検討すること。



- ③災害時に役立つアプリ等の独自開発を早急に検討すること。加えて、アプリ等も活用しながら、備蓄状況や避難所の収容人数等の情報を積極的に公表し、防災訓練を重ねることで相互の助け合いの中で誰もがスムーズに避難できるようにすること。
- ④車中泊のための駐車スペースの確保や、迅速な情報共有を含め、幅広い企業や団体、広域自治体間での協定締結を進めること。



## テーマ3 地域活性化

- ①高齢化を抑制するため、市内企業の情報発信や企業誘致を行い、若者の市内への定住を促すとともに、市税収入の増加を図ること。  
高齢者を対象としたバスの無料化やコンパクトなまちづくりの推進、廃校を活用した「高齢者の学校」設置など、高齢者と若者が交流し、ともに暮らしやすいまちづくりに取り組むこと。
- ②商店街を活性化し、行きたくなるまちとなるよう、中央通りのライトアップの工夫や空き店舗の短期貸し出しにより人気店の出店を促すなど、「映える」イメージアップを図ること。  
格安で飲み物が飲める共通コップのシステム構築や商店街で利用できるクーポン券の発行など、消費者に訴える取り組みを行うこと。

- ③市内を回れるモデルコースの募集など、若者のアイデアを取り入れるとともに、旧東海道を生かした集客など、三重県全体を巻き込んだ観光施策を行っていくこと。
- ④インスタグラムやツイッターなどでお気に入りの風景やお店の写真を応募してもらいフォトコンテストを開催するなど、SNSを活用して四日市の魅力発信に努めること。市のパンフレット等にも応募された写真を掲載するなど、写真をメインにしたレイアウトに一新すること。



## 2月定例会月議会の概要

令和3年2月定例会月議会の議会期間は、2月12日から3月24日までの41日間でした。

令和3年度の一般会計、特別会計および企業会計の当初予算など、市長から提案された65議案を審議し、62議案を原案のとおり可決し、3件の人事案件に同意しました。また、請願については、1件を不採択とし、1件を令和3年4月30日まで審査期限を延期することとしました。

議員提出議案の四日市市議会委員会条例の一部改正について、市長専決処分事項の指定についての一部改正については、原案のとおり可決しました。

### 日 程

2月12日(金) 初日 (議案説明、報告・質疑、 委員長報告・質疑・討論・採決) 予算常任委員会分科会 (総務、教育民生、産業生活) 予算常任委員会全体会	4日(木) 常任委員会/予算常任委員会分科会 (総務、教育民生、産業生活、都市・環境)
22日(月) 代表質問	5日(金) 常任委員会/予算常任委員会分科会 (総務、教育民生、産業生活、都市・環境)
24日(水) 一般質問	8日(月) 常任委員会/予算常任委員会分科会 (総務、教育民生)
25日(木) 一般質問	9日(火) 常任委員会/予算常任委員会分科会 (総務)
26日(金) 一般質問	12日(金) 予算常任委員会全体会
3月1日(月) 一般質問	15日(月) 予算常任委員会全体会
2日(火) 一般質問、議案質疑・委員会付託 追加議案説明・質疑・委員会付託	16日(火) 予算常任委員会全体会
3日(水) 常任委員会/予算常任委員会分科会 (総務、教育民生、産業生活、都市・環境)	17日(水) 教育民生常任委員会
	24日(水) 最終日 (委員長報告・質疑・討論・採決、 追加議案説明・質疑・討論・採決)

### 議案の議決結果

市長提出議案	議案名	議決結果	
議案第70号	令和3年度一般会計予算(1211億6000万円)	原案可決	賛成多数
議案第71号	令和3年度競輪事業特別会計予算(207億9000万円)	原案可決	全員
議案第72号	令和3年度国民健康保険特別会計予算(280億3600万円)	原案可決	全員
議案第73号	令和3年度食肉センター食肉市場特別会計予算(9億2300万円)	原案可決	全員
議案第74号	令和3年度土地区画整理事業特別会計予算(1億4120万円)	原案可決	全員
議案第75号	令和3年度住宅新築資金等貸付事業特別会計予算(950万円)	原案可決	全員
議案第76号	令和3年度農業集落排水事業特別会計予算(4億230万円)	原案可決	全員
議案第77号	令和3年度介護保険特別会計予算(223億3000万円)	原案可決	全員
議案第78号	令和3年度後期高齢者医療特別会計予算(68億4800万円)	原案可決	全員
議案第79号	令和3年度水道事業会計予算(117億1553万4000円)	原案可決	全員
議案第80号	令和3年度市立四日市病院事業会計予算(270億7150万円)	原案可決	賛成多数
議案第81号	令和3年度下水道事業会計予算(272億3563万3000円)	原案可決	全員
議案第82号	令和3年度桜財産区予算(4840万円)	原案可決	全員
議案第83号	土地開発公社経営健全化基金条例の一部改正	原案可決	全員
議案第84号	市職員定数条例の一部改正	原案可決	全員
議案第85号	委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	原案可決	全員

議案第 86 号	職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第 87 号	固定資産評価審査委員会条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第 88 号	介護保険条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第 89 号	指定地域密着型サービスの基準を定める条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第 90 号	指定地域密着型介護予防サービスの基準を定める条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第 91 号	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第 92 号	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第 93 号	国民健康保険条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第 94 号	保健所等関係手数料条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第 95 号	興行場法施行条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第 96 号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第 97 号	市立こども園条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第 98 号	市立幼稚園条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第 99 号	市立保育所条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第100号	観光大使設置条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第101号	食肉地方卸売市場業務条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第102号	四日市市を美しくする条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第103号	建築基準法等関係手数料条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第104号	道路占用料徴収条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第105号	運動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第106号	四日市ドーム条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第107号	総合体育館の設置及び管理に関する条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第108号	奨学金条例の制定	原案可決	全 員
議案第109号	学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例の制定	原案可決	全 員
議案第110号	第8次介護保険事業計画・第9次高齢者福祉計画の策定	原案可決	全 員
議案第111号	土地の処分	原案可決	全 員
議案第112号	工事請負契約の締結－北部埋立処分場浸出水処理施設整備工事－	原案可決	全 員
議案第113号	工事請負契約の締結－令和3年度 地域維持型道路・河川等維持修繕業務(北部)(単価契約)－	原案可決	全 員
議案第114号	工事請負契約の締結－令和3年度 地域維持型道路・河川等維持修繕業務(中部)(単価契約)－	原案可決	全 員
議案第115号	工事請負契約の締結－令和3年度 地域維持型道路・河川等維持修繕業務(南部)(単価契約)－	原案可決	全 員
議案第116号	工事請負契約の締結－常磐西小学校大規模改修工事(1期工事)－	原案可決	全 員
議案第117号	工事請負契約の締結－笹川小学校大規模改修工事－	原案可決	全 員
議案第118号	工事請負契約の締結－内部小学校大規模改修工事(1期工事)－	原案可決	全 員
議案第119号	工事請負契約の変更－中央緑地駐車場整備工事－	原案可決	全 員
議案第120号	障害者体育センターの指定管理者の指定	原案可決	全 員
議案第121号	市道路線の認定	原案可決	全 員
議案第122号	令和2年度 一般会計補正予算(第9号)	原案可決	全 員
議案第123号	令和2年度 一般会計補正予算(第10号)	原案可決	全 員
議案第124号	令和2年度 国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決	全 員
議案第125号	令和2年度 食肉センター食肉市場特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全 員
議案第126号	令和2年度 土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全 員
議案第127号	令和2年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全 員
議案第128号	令和2年度 下水道事業会計第2回補正予算	原案可決	全 員



## 委員会審査の概要

常任委員会における条例の一部改正議案などについての審査で出された主な意見等の概要をお知らせします。

### 総務常任委員会

#### ◆職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正および固定資産評価審査委員会条例の一部改正について

**質疑** 今回の改正は、いずれも行政手続の簡素化と市民の利便性の向上を図るため、押印に関する規定を見直そうとするものだが、押印廃止の動きは、これまでに根付いてきた印鑑至上主義に一石を投じるものであり、法令や国の通知等で押印が必要とされている手続き以外は押印を廃止すべきと考えるがどうか。

**回答** 国からは押印廃止に係るガイドラインがまだ示されていないものもあるが、押印廃止の意義はよく理解しており、市民の利便性向上を第一義として取り組んでいる。

### 都市・環境常任委員会

#### ◆四日市市を美しくする条例の一部改正について

**質疑** 条例を改正する背景を確認したい。

**回答** 令和元年8月定例月議会での不法投棄根絶に向けた議会からの提言を受け、不法投棄行為者の氏名を公表できる旨を明確化するほか、時代の変化に合わせて具体的なごみを例示するものである。

**質疑** 条例改正の内容をどのように周知するのか。

**回答** 広報よっかいち、報道機関への情報提供、ホームページやアプリ等を通じて周知する。

**意見** 本市が本気になって不法投棄対策に取り組んでいることをさまざまな媒体を用いて繰り返し伝えてほしい。

### 教育民生常任委員会

#### ◆四日市市興行場法施行条例の一部改正について

**質疑** 条例改正の前後で喫煙所の取り扱いはどうなるのか。

**回答** 改正前は施設の各階1カ所以上に設置することを前提としていたが、健康増進法の改正に伴って、今回条例を改正し、喫煙所を設置する場合には、一定の基準等にのっとり設置することになる。

**質疑** 実情に鑑み、施設に1カ所は喫煙所が必要と考えるがどうか。

**回答** 健康増進法では第一種施設と第二種施設があり、第二種施設となる興行場は基準を満たす喫煙所であれば設置することができる。

**意見** 喫煙所を設置しない場合、喫煙マナーの乱れにより受動喫煙が引き起こされることも危惧する。そういったところにも意識を向けてもらいたい。

### 産業生活常任委員会

#### ◆四日市市食肉地方卸売市場業務条例の一部改正について

**質疑** 申請書における押印を廃止するほか、買受人承認申請に係る規定を整備しようとするものであるが、買受人承認申請における身元保証人に関する規定は、金銭上の担保を目的とした規定であり、卸売会社に対する保証金の預託によって、必要と認められる金銭上の担保は提供されていると考えられるため、当該規定を削除するという理解でよいか。

**回答** その通りである。

## 予算常任委員会 審査の概要

予算の審査については、総務、教育民生、産業生活、都市・環境の各分科会で、おのおのの所管に属する予算について詳細な審査を行った後に、予算常任委員会の全体会において各分科会からそれぞれの審査の経過と結果の報告を行い、必要な事項については全体会で審査しました。全体会および分科会で示された主な意見等の概要をお知らせします。

### 予算常任委員会全体会

#### ◆緊急告知ラジオ購入支援事業について

**質疑** 導入するラジオの機能を確認したい。

**回答** 一般的なラジオ機能に加え、特定の電波を受信すると自動的に緊急放送に切り替わる機能があり、起動方式にCOMFIS方式を採用し、Jアラートにも対応する。

**質疑** セーフティネットとしての施策であるにもかかわらず、購入費用の一部負担を市民に求めることについての考え方はどうか。

**回答** 平成26年当時は行政のセーフティネットとしての役割を鑑みて貸与としたが、現在は携帯電話・

スマートフォンの普及も進んでいる。各市民が、通信料等を一定負担して災害情報を得ていることから、緊急告知ラジオの購入についても購入者に一部負担していただくこととした。

**質疑** 緊急時の情報の取得方法については対策を重ねることが重要であり、緊急告知ラジオは必要と考える。販売方法が煩雑であることが原因で、必要な人にラジオが届かないことを危惧するが、販売の対象は本人だけなのか。

**回答** 代理人でも購入できるように制度構築していきたい。

### ◆市指定文化財「旧四郷村役場」保存整備活用事業について

**質疑** 工事費の負担軽減を目的に導入を検討しているガバメントクラウドファンディングの制度概要はどうか。

**回答** ふるさと納税制度を活用し、用途を限定して寄附を募るものである。

**意見** 本市ではふるさと納税制度による市税の流出が課題となっており、その対策としてクラウドファンディングが検討されていることから、今回のガバメントクラウドファンディングについても積極的に対応してほしい。

**意見** 必要な事業予算が決まっており、寄附の目標額に達しなくてもやめることのできない本事業には、ガバメントクラウドファンディングは馴染まないのではないか。



### ◆予算のマイナス3%シーリング(※)について

**質疑** これまではシーリングの考え方を採っていなかったが、来年度予算に限って実施するのか。

**回答** 今回、特に新型コロナウイルス感染症の影響による今年度の業務の実施状況を踏まえた削減が大きな理由だが、一般事務経費については毎年削減に努めており、予算要求の段階で各所属が節減努力

を行うことに意義があると考え3%シーリングを実施した。

**質疑** 市総合計画に基づく推進計画の実施に対し、シーリングの影響はあるのか。

**回答** シーリングの対象を一般事務経費に限っており、推進計画の予算には影響は及んでいない。

※マイナスシーリング…予算要求などにあたって、前年度より一定率を減じたものを要求限度とすること

### ◆地区市民センター機能強化事業(電気自動車配備)について

**質疑** 他の車種の電気自動車が販売されているにもかかわらず、一般向けの販売が終了する予定の車両を配備しようとする理由を確認したい。

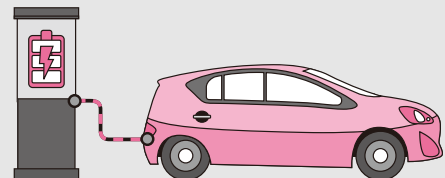
**回答** 車両の大きさや積載量といった実用性、また、環境への配慮、非常用電源としての利用等について総合的に検討して決定した。

**意見** 予算を認めたとしてもその予定する車両が購入できるかどうか不明であることから、予算執行にあたっては、購入車種を決定する前に車両調達の見通しを議会へ報告するべきである。

●こうした議論を経て、当委員会として次のように附帯決議を付しました。

「当事業に係る電気自動車の配備については、車両調達の見通し及び導入予定車種に変更が生じた場合の対応等に関し、議会に報告を行う中で取り進めること」

「電気自動車の配備に際しては、調達先との電気自動車を活用した災害連携協定の締結について検討を行うこと」



### ◆市立四日市病院における院内託児所事業について

**質疑** 運営協議会の役員構成を見ると実態は市の直営のような体制と捉えられるが、直営とは何が異なるのか。

**回答** 夜間保育などさまざまなニーズに合わせた対応や、病院という変則的な勤務時間について理解してもらえる保育士の確保が行いやすいと考える。

**意見** 看護師の確保や定着のための施策であることを鑑みると、民間委託にするよりも、柔軟な調整を行うことができる団体との随意契約は妥当性もあると考えるが、他院と比較して高い保育料については改善の余地があると考え、引き続き努力してほしい。

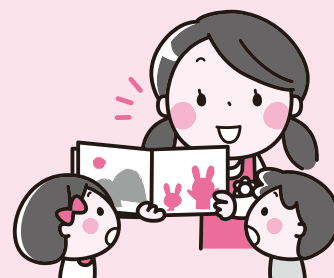
**質疑** 他院の保育料と比較すると高額であり、保護者負担が大きいと、看護師にとって働きやすい職場環境の確保という視点から考えると、運営方法の見直しなどによって、保育料を引き下げる努力

が必要と考えるがどうか。

**回答** 公立保育園等の保育料とのバランスをとりながら、改めて検討したい。

●こうした議論を経て、当委員会として次のように附帯決議を付しました。

「市民の理解を得られるよう現在の委託先の在り方を検討しつつ、保育料の見直しを行うこと」



## 予算常任委員会分科会

### 総務分科会

#### ◆衆議院議員選挙における感染症対策について

**質疑** 期日前投票者数の増加が想定されるが、各投票所従事者の増員は1名か。

**回答** 期日前投票所に派遣従事者を1名程度増員し、定期的な消毒や密を防ぐための入場整理等の対策を行う。

**質疑** 感染対策として投票所に換気設備等を導入するのか。

**回答** 換気装置の導入は考えていないが、窓が少ない投票所等は、扇風機等を使って対策したい。

**質疑** 投票所の混雑状況をリアルタイムで知らせるシステムについて教えてほしい。

**回答** ホームページに各投票所の混雑状況を3段階程度で表示するようなシステムの導入を考えており、有権者が投票に行く時間帯の判断材料にしよう。

#### ◆新型コロナウイルスワクチンに係る接種体制確保事業費および接種事業費について

**質疑** 交通弱者の方がワクチンを接種できるよう、公共交通でアクセスしやすい場所で接種できるようにすべきではないか。

**回答** 集団接種会場は駐車場の有無を一つの基準としているが、高齢者等の交通弱者向けに、かかりつけ医を通じた対応や移動が困難な方についても対応策を検討したい。

**質疑** ワクチンの取り扱いや6回分接種できる特殊な注射器等について、現在の状況を確認したい。

**回答** 国が6回分接種できる注射器を発注しているとの情報もあるが、入手困難な状況が続いており、本市のワクチン接種事業はすべて5回分の接種で想定している。情報が更新され、当初よりはワクチンを扱いやすくなったが、貴重なワクチンであることに変わりはないため、的確に対応できるよう医師会や薬剤師会とともに研究していく。

### 教育民生分科会

#### ◆児童虐待防止対策事業について

**質疑** こんにちは赤ちゃん訪問事業や、健診の連絡などで接触を試みたものの連絡がつかない、健診に来ないなどの事例を個別具体的に把握し、そのデータに基づき対応を行うなど、既存の枠組みを強化していくことが見守り強化につながると考えるがどうか。

**回答** こんにちは赤ちゃん訪問事業などを実施するこども保健福祉課母子保健係との連動は、

重篤事案に関わる重要な取り組みと認識しており、連携を強化するための内規を定めるなど、既存の仕組みの強化を図っている。

#### ◆健康福祉部全般について

**質疑** ワクチン接種など、コロナ禍対応に必要な健康福祉事業については、財源を国の交付金等に頼ることになるが、本市としても財源確保のためには健康福祉部の事業や特にハード事業などを見直す必要があると考える。また、ワクチン接種後にどのような事業を実施していくのか、準備、検討しておくべきではないか。

**回答** 健康福祉部の事業としては、生活保護の相談や国民健康保険の保険料に関する相談などは、感染症に対する相談とは時期がずれて増えてくる。今後5年程度の中期的なスパンでは市の負担も伴ってくると考えるため、今すべきもの、先を見据えてすべきものの整理をしていく必要がある。

**意見** 今までのようにはいかないということ念頭に、短期的、中期的、長期的にすべき仕事は何かを考え業務を行っていく必要がある。国の交付税等を当てにするのではなく、市としても準備が必要である。

**意見** 事業見直しの必要性について、国では民間に事業再構築補助金等の支援を行い、今の事業が成り立たない所は新しい事業を実施するよう誘導している。行政でも当然変更すべき部分があるので、来年度はしっかりと評価を行わないと自治体間で大きな差異が生まれると考える。

### 産業生活分科会

#### ◆地域マネージャーについて

**質疑** 地域マネージャーが今年度から会計年度任用職員となったが、役割が明確でないという印象を強く受けた。制度を存続させるのであれば、地区市民センター館長や地域マネージャーに対して改めて研修を行う必要があり、新規採用の際には、職責を果たせる人材かどうかを十分に見極める必要があると考えるがどうか。

**回答** 地域マネージャーの業務は、各地区の事情に応じて差があり、柔軟に対応しているが、業務の平準化の必要性は感じているため、地区市民センター館長や地域マネージャーから聞き取りをしながら方向性を再度検討していきたい。

**意見** 自治会等に対する支援は地域づくりのための補助金で担保されている。また、地域マネージャーの新規採用にあたっては、公務員としての立場を鑑みて、勤務地区を限定する人材を採用すべきではないと考える。

◆市立四日市病院の経営について

**質疑** DPC特定病院群(※)を堅持しながら病院経営を行っていく上で課題とを感じる部分を確認したい。

**回答** コロナ禍に起因する受診の抑制は深刻な課題と捉えている。市内においても健康診断の受診率が非常に落ち込んでいる中、早期発見や検査治療の件数は大幅に減少している。ウィズコロナにおいては、基本的な当院の使命を前提にしながらバランス感覚を持って経営できるよう職員全体で考えていきたい。

**意見** 早期発見の減少は重要な問題であるため、過度な受診抑制とならないような施策を検討していく必要がある。

※DPC特定病院群…高診療密度を有する大学病院本院並の診療機能を有した病院

**回答** エレベーターが階段の踊り場部分に接続する形になることから、各住戸から半階分の階段が残ってしまう。この点がどのように影響するか状況を確認していきたい。

**質疑** 三重団地での取り組みが好評だった場合に、他の市営住宅にもエレベーターを設置していく可能性はあるのか。

**回答** エレベーター設置による効果が確認できれば、1棟当たりの戸数、建築年数、設置スペース等を検討しながら、設置する市営住宅を広げていきたい。

◆学校開放施設照明設備設置事業(学校開放事業費)

**質疑** 夜間照明を整備する羽津北小、三重北小の2校区以外の地域の人も利用できるのか確認したい。

**回答** 地元が優先されることもあるが、校区に関わらず市民が広く利用できるようにしていきたい。

**質疑** 照明設備を利用する料金と時間帯を確認したい。

**回答** 午後9時までの利用を想定しており、利用料金は、1回2000円程度と考えている。

都市・環境分科会

◆市営住宅整備事業費

**質疑** 三重市営住宅のエレベーター設置工事を実施した場合、上層階の空室についても入居が進む見通しか確認したい。➡

2月定例月議会の議案に対してご意見をいただきました

一部の議案について、委員会で審査される前に市民の皆さんに情報提供を行い、ご意見をいただいています。主なご意見の概要は次のとおりです。いただいたすべての意見は市議会ホームページに掲載しています。

◆119番映像通報システム整備事業について 7件  
 〈意見〉良いシステムだと思うが、110番や119番は電話料金がかからないため、映像通信も無料にした方が良いと思う。また、通信速度に制限がかかっている場合、通信速度が遅いため、映像の画質が悪く判断がしづらい可能性があるため、通信速度やギガバイト数の制限が掛からないようにしてほしい。

◆四日市市奨学金条例の制定について 3件  
 〈意見〉本市への定住化の対策として奨学金制度は歓迎する。大学生対象で奨学金月額24000円では、生活費、居住費、交通費等の負担が大きいので、月額30000円～36000円に設定してはどうか。高校生の費用負担とは大幅に違うと思考する。奨学金返還については、在学期間に応じた扱いに賛成する。

◆地区市民センター機能強化事業(地区市民センター管理運営費・整備事業費)について 11件  
 〈意見〉重要なテーマとしてぜひ強化をお願いする。同時に、職員、担当者のレベルアップに努力して➡

ほしい。人材の育成・教育が、機能強化の重要なポイントになると考える。設備・機器の充実も大切だが、それらを使う人、市民に対するサービス力の向上があってこそ機能強化だと考えるので、お願いしたい。

〈意見〉階段昇降機設置は、今本当に必要とされている。私の地区のセンターでも、階段を上ることが大変な方々をよく見かける。「昇降機」が設置されれば、2階への移動が便利になり、利用できるようになるため、いろいろなことに参加する方が増えると思う。ぜひ設置してほしい。

◆住み替え支援促進事業補助金について 2件  
 〈意見〉旧耐震空き家除去促進補助金について、私の実家も古い耐震基準の空き家だが、更地にすると固定資産税が倍近くアップすると聞く。この制度は更地にしてから、期限付きで何年間補助の計画なのか。更地にする前に、補助金申請で許可をもらわないと固定資産税が怖くてできないが、この制度で空き家の建て替え促進が図られるといいと思う。

6月定例月議会については、6月1日(火)に市議会ホームページに議案および議案資料を掲載し、6月16日(水)までご意見を募集する予定です。皆さんからのご意見をお待ちしています。

# 議会からの提言は予算にどう反映されたのか？

昨年の8月定例会議会の決算審査を経て、令和3年度予算編成に向けた10項目の提言を市長に行いました。それを受け、今回の2月定例会議会では、提言内容が次年度予算に反映されているのか審査を行いました。

それらの中から、議会からの提言内容が予算に反映され、「拡大」となった主な内容をご紹介します。(詳しい内容は、市議会ホームページからご覧いただけます。)



### 〈提言〉スマート自治体の実現

増額

- スマート自治体の実現に向けた具体的な計画「四日市市情報化実行計画」の策定等  
**予算額** 1800万円 〈前年度50万円〉
- マイナンバーカードを活用した行政手続のオンライン化事業  
**予算額** 1300万円 〈前年度50万円〉

### 〈提言〉地区市民センターの整備実施

新規事業

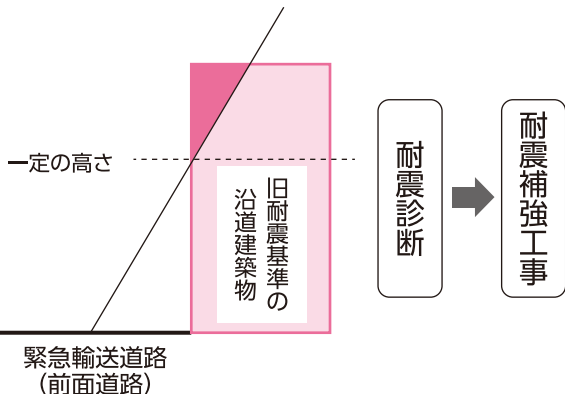
- 防災、福祉、利便性等の点から地区市民センターの整備を行うための調査研究等を行う  
**予算額** 160万円 〈前年度 なし〉



### 〈提言〉緊急輸送道路に係る対応

増額

- これまでの第1次緊急輸送道路に加え、第2次緊急輸送道路における沿道建築物についても耐震診断を義務付け、耐震診断や耐震補強に係る補助経費を新たに計上  
**予算額** 3億8986.7万円 〈前年度 1億830万円〉



### 〈提言〉障害者雇用の推進

新規事業

- 各種支援制度の周知を図るために、障害者雇用に関するパンフレットを作成  
**予算額** 29万円 〈前年度 なし〉
- 「障害者雇用職場定着支援事業」を新たに実施  
**予算額** 391万円 〈前年度 なし〉

### 〈提言〉公立保育園、幼稚園、認定こども園の施設整備の実施

増額

- 修繕関係予算を確保し、各園からの要望に対応  
**予算額**  
 保育園 3369.4万円 〈前年度2414万円〉  
 こども園 405万円 〈前年度93.7万円〉  
 幼稚園 2838万円 〈前年度1335万円〉

### 〈提言〉合併浄化槽の水質浄化促進及び普及促進

増額

- 浄化槽維持管理事業補助金の補助額を増額  
**予算額** 7290万円 〈前年度4572.9万円〉
- 法定検査適正率向上に向けて職員を6名増員
- 高齢者のみの非課税世帯への合併処理浄化槽設置整備補助金(転換)を10%割り増し

### 議員説明会を開催

1月20日に、「公立幼稚園の第2次適正化計画」、「近鉄四日市駅周辺等整備事業の状況」、「新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保」について、行政側から説明を受けました。

## 代表質問から

代表質問は、市議会の各会派が当初予算の審議に先立ち、市長の施政方針について考えをたぐすものです。その主な質問と答弁の内容をご紹介します。

質問等の詳細については、市議会ホームページに掲載しています「インターネット録画中継」または「会議録（次の6月定例会月議会ごろに公開予定）」をご覧ください。

### 代表質問をした議員と項目（質問順）

川村 幸康	政友クラブ	・市長の所信表明と令和3年度当初予算について
伊藤 昌志	市民eyes	・新年度予算について ・まちづくりについて ・新型コロナウイルスワクチン接種について
石川 善己	新風創志会	・市長の所信表明及び当初予算について
中川 雅晶	公明党	・所信表明及び令和3年度予算について
加納 康樹	リベラル21	・市長の所信表明と令和3年度当初予算に関連して

QRコードから各議員の質問の映像を見ることができます。（※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります）

#### 市政運営

### コロナ禍で常識に捉われない柔軟な行政運営を



政友クラブ  
川村 幸康

**議員** コロナ禍で不透明な中では、専門的な意見を聴いた上で施策や方向性を判断する必要があります。ワクチン接種が進んでも、コロナ禍の状況は当面続くと考えるが、検証を行いつつ、状況に応じた施策を行っていくことが重要である。

市長が最優先課題に掲げる子育て支援について、本市は「待機児童ゼロ」を宣言したものの、年度途中に入所できない待機児童はまだ多い。本市が待機児童を解消し、真の「待機児童ゼロ」になるためには、何が必要と考えるか。

また、ZEH（ゼッチ）（※）を新たにスマートシティ構築促進補助金の対象とすることでZEH住宅が増えれば、カーボンニュートラルに貢献できるため、予算枠を拡充し、基準を満たす新築住宅すべてに補助すべきではないか。

**市長** コロナ禍における政策判断を行うにあたり、必要なところに適切かつ効果的に事業を進めるためには、現場の声をよく聴き、さまざまな知見も踏まえ、総合的に判断していきたい。

子育て支援について、市政アンケートや民間

※ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス。大幅な省エネと再生可能エネルギーの導入でエネルギー収支ゼロを目指す住宅

ランキングの結果を見ると、これまでの施策の積み重ねにより、本市は「子育てしやすいまち」として満足度や評価が高まってきたが、まだ課題もある。年度当初の待機児童は解消したものの、年度途中では低年齢児に待機が生じているため、今後も低年齢児の保育認定の受け入れ枠の拡大に取り組む。

また、現行の補助制度にZEHを対象に加えることで、住宅におけるZEHの標準化が図られ、環境面だけでなく、より良質な住宅の普及による居住環境の向上、災害対応力の強化などのさまざまな効果が期待されるため、予算額を超える補助申請があれば対応を検討したい。

**議員** コロナ禍では、常識に捉われず物の見方を変えるような柔軟な行政運営が求められる。本市は、適度な人口規模で、多くの経験も有し、コロナ禍でも力を発揮できるまちと考える。市長が所信で述べた組織力強化と職員の意識改革は大変重要であり、過去の経験を生かした積極的で前向きな取り組みを市長には期待したい。



## 新型コロナウイルス コロナ禍の経験を生かした事業推進を



市民eyes  
伊藤 昌志

**議員** 新型コロナワクチン接種について、新聞社等の世論調査で「接種する」と答えた人の中には、「家に小さな子供がいる。自分がうつすことがあってはならない」などの声があり、「人にうつす」ことを予防するために「接種する」と答えた人が見受けられた。ワクチン接種の目的は自分自身の発症予防や重症化させないためである。接種の判断についても、「年齢や基礎疾患によるリスク」と「ワクチン副反応によるリスク」を比較することが重要であり、正確な数値を示した情報提供が必要と考えるがどうか。

**市長** ワクチンの接種目的や効果については、正しい情報をホームページなどに掲載するほか、専門的な相談については、三重県などの関係機関と連携しながら対応していく。

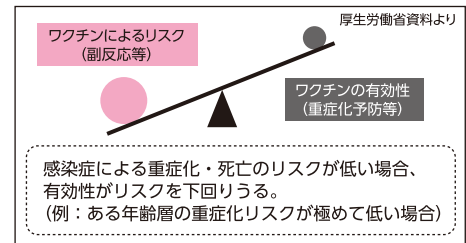
**議員** ワクチン接種は人への感染を防ぐものではないこと、接種は任意であること、接種の強要があってはならないこと、新型コロナウイルスの正確な死亡者数など、市民に正しく丁寧に伝えた上で接種の是非を選択してもらうことが求められていると考える。封書、ホームページ、SNS等でどのような点に留意して広報を行うのか。また、集団接種だけでなく個別接種の検討が他市町で行われており、本市においても好事例を取り入れるなど適切な広報と仕組みづく



りが市民の安心につながると考えるがどうか。

**市長** ワクチン接種の主旨を理解してもらえよう、接種券、予診票に合わせて説明書を個々に送付する予定である。また、一人ひとりが日頃から健康の維持、体調管理に努めることが必要であることや基礎的な感染予防対策についても引き続き広報していきたい。個別接種は、医師会の協力やワクチンの取扱方法など、整理ができ次第実施したいと考えているが、不透明な点も多いため適宜検討を進めていく。

**議員** ワクチンは獲得免疫である。根本的には、接種の前に自己免疫力を高める体づくりを広報し事業を推進する必要があると考える。コロナを正しく恐れるために、コロナ禍を経験した目線を加えて全事業の推進を図ってほしい。



**ワクチンの有効性より副反応によるリスクが大きい場合は、必ずしもワクチン接種は有効でない。**

ワクチンの有効性と副反応のリスクについてのイメージ

## 市政運営

## より良い四日市市となるために



新風創志会  
石川 善己

**議員** 新型コロナウイルス感染症は農業にも大きな影響を及ぼしている。国の支援措置は大規模農家向けのメニューが多いが、本市は中小規模農家が多く、中小規模農家向けの支援が必要である。近年では、小規模農家でも生産方法等を工夫して収益を上げるスモール農業が注目されている。近年では大規模農家だけでは地域全体の農業環境の維持に手が回らない状況があり、小規模農家の存続を支援し、さまざまな規模の農家が互いの特徴を生かして共存していくことが重要であると考えているがどうか。

次に、自治会の未加入や脱会等、自治会を取り巻く状況は依然厳しく、現役世代が活動しやすい仕組みづくりが必要であると考えている。そこで、オンライン会議の活用を後押しし、インターネット環境の整備やタブレット端末の貸し出しなどの支援を検討してはどうか。また、自治会への財政支援策の見直しや負担軽減も必要である。自治会が抱える課題を正面から受け止め、改善に向けて取り組むべきではないか。



**市長** 小規模農家の支援については、人・農地プランの実質化を通じて、地域でまとまった営農体制を確立できるように取り組むとともに、地域ぐるみ型農業推進事業費補助金を創設し、地域農家が一体となって行う営農活動や環境維持に補助を行う。また、農家の規模の大小に関わらず農産物の高付加価値化や6次産業化、スマート農業の導入等の支援を行う。

次に自治会支援について、オンライン会議の活用は、担い手不足に苦しむ自治会への有効な解決策として期待しており、全国的な事例紹介や機器操作の助言等の支援を行っていく。また、オンライン会議に係る講座の開催や地区市民センターへのWi-Fi環境の整備も考えている。さらに、財政的支援の拡充や本市から依頼している業務の整理を行っているところであり、今後も自治会の負担軽減を図っていく。

**議員** 農村部の水路維持等を市で行うことも検討してはどうか。また、担い手確保のためにも自治会に携わる方の待遇向上も検討してほしい。

市政運営

認知症施策、気象災害対応、新型コロナ対策を問う



公明党  
中川 雅晶

**議員** 本市では、認知症に関するさまざまな施策に取り組んできたが、総合計画に掲げる認知症の人にやさしいまちづくりの達成のためには、民間企業との協働が不可欠である。市が企業等の認知症に優しい取り組みを評価、公表するなど、認知症の人が大切な顧客であるという認識を広める必要がある。そのために、本市が「認知症にやさしいまち」の都市宣言をし、条例で市の責務、市民や企業等の役割を明確化し、認知症施策を市全体で推進すべきではないか。

次に、気象庁は、気象台OB・OGを気象防災アドバイザーとして委嘱している。自治体レベルでも風雨予測、避難の見極めを行い、局所的なゲリラ豪雨等に対応できるよう、本市でも気象防災アドバイザーを採用すべきではないか。

さらに、新型コロナウイルスのワクチン接種事業には入念な準備が必要だが、副反応への対応体制や、会場に行けない方や外国籍の方への対応など、現在どのような準備をしているか。

**市長** 認知症対応への決意を示すため、本市では「認知症に向き合う宣言」を考えている。民間企業にも、認知症にやさしいまちづくりの一翼を担っていただけるよう、これまでの取り組みによる認知症への理解をさらに広げ、市全体で認知症に向き合うまちの実現を目指していく。



また、気象防災アドバイザーは、気象の専門家として平常時の気象防災に関する勉強会、災害時の見通し予測など、激甚化する気象災害への対応において活躍が期待されるため、依頼する内容について今後検討していく。

また、ワクチン接種事業について、副反応への対応として、会場での複数の医師による体制の整備を進めており、併せて、高齢者施設での接種、会場へのバス送迎、多言語での案内など、新しい情報を確認し、着実に取り組んでいる。

**議員** 認知症施策は、本市のこれまでの施策を「四日市モデル」として完結させてほしい。

また、ワクチン接種事業は、自治体間で早さを競うのではなく、安全で円滑に行うことが肝要である。全庁一丸となって取り組んでほしい。



今後の防災、災害対応での活躍が期待される気象防災アドバイザー

市政運営

四日市市政の今後の展望を問う



リベラル21  
加納 康樹

**議員** 近鉄四日市駅周辺等整備事業はリニア中央新幹線の開通に合わせて2027年の完成を目標としていたが、同年のリニア開通は絶望的と言われており、さらに、コロナ禍において全国的に駅前再開発事業の延期や見直しが発表されているが、完成時期はいつか。また、新図書館整備に関してはスターアイランド跡地を所有する近鉄グループの方針が大きく影響する。市長は本件について近鉄グループの合意が得られたと発言しているが、近鉄グループからの回答書には図書館の組み入れを断る可能性がある旨の記載があり、さらに、この回答後に近鉄グループは複数の事業の撤退を発表し、事業再構築を進めている。このような状況下において、駅前再開発と新図書館は同時期に完成するのか。

次に、治水対策について、近年は10年前と比較して格段に降雨量が増加している。常磐地区や日永地区では大雨が降った際に高い確率で浸水被害を受けているが、このような被害が頻発している地区は早急に対策すべきではないか。



**市長** リニア中央新幹線の開通までに、いち早く近鉄四日市駅、JR四日市駅および中央通りの整備・再編を進めることが重要であり、国直轄のバスターミナル整備を含め、当初の予定通り2027年の完成を目指す。また、新図書館整備について、書面により近鉄グループの意思を確認しているが、これによって新図書館の立地場所が最終決定したのではなく、現時点では回答書の記載内容や事業再編等の対応は民間企業としてはやむを得ないと考える。なお、直近の連絡でも、新図書館を含むスターアイランド跡地活用の考えに変わりはないことを確認している。中央通りの再編に合わせて新図書館整備事業についても2027年の完成を目標とする。

次に、治水対策について、氾濫の危険性のある河川の整備を進めるとともに、現在策定中の雨水管理総合計画の中で優先度を定め、雨水排水対策を進めていく。浸水被害が多く発生している常磐地区や日永地区は最も優先度が高い地区と捉え、次期整備対象区域に指定したい。

## 一般質問をした議員と項目（質問順）

後藤 純子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DV被害について</li> <li>・クラスター発生後の市立四日市病院について</li> <li>・さきめし券について ～効果と検証</li> </ul>
小田あけみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民イベントに対する支援について ～緊急警戒宣言解除後、市民イベントに対して市はどの様に支援していくのか？～</li> <li>・子育て支援について ～「子育てお助けチケット」の提案～</li> </ul>
樋口 龍馬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住みたくなるまち四日市</li> </ul>
竹野 兼主	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍における都市計画税について</li> <li>・コロナ禍における今後の公共施設の利用方法について</li> </ul>
小林 博次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策について</li> <li>・高齢者対策について</li> <li>・防災対策について</li> </ul>
伊藤 嗣也	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギーの地産地消を目指して</li> <li>～すべての公共施設で取り組むべき発電と蓄電～</li> </ul>
笹井 絹予	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の利便性と環境づくり</li> </ul>
中村 久雄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市歌の更なる活用を！</li> <li>・新型コロナウイルスをスマートに恐れよう！</li> <li>・本市の電子化推進度は？</li> </ul>
笹岡秀太郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そらんぼ四日市について</li> </ul>
荻須 智之	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セアカゴケグモ等の外来生物の現状について</li> <li>・北部清掃工場の解体撤去について</li> <li>・どこへ行った「大矢知地区の学びの一体化」？</li> </ul>
森 康哲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の四日市市の対応状況について</li> <li>・都市計画法の土地の利用制限がかかっている土地の活用について</li> </ul>
小川 政人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再選後の所信表明の風通しが良く心を一にした組織ゆるぎない正義感について</li> </ul>
森川 慎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・霞ヶ浦緑地における防災の考え方について</li> <li>—「コンビナートにホームランを打ち込め」と言ってしまう低い防災意識への危惧</li> <li>・人口減少問題について</li> </ul>
森 智子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数学級について ～誰一人取り残さないために～</li> </ul>
山口 智也	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害弱者の避難対策について～誰ひとり取り残さない防災を目指して～</li> </ul>
荒木 美幸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性の多様性を尊重する社会の構築に向けて</li> <li>・養育費不払い問題について</li> </ul>
樋口 博己	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康・元気都市四日市」を目指せ！</li> <li>・工場夜景の新たな観光スポット「配管橋」ライトアップ</li> </ul>
太田 紀子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子育てするなら四日市」というならば・・・その3</li> </ul>
豊田 祥司	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四日市市の防災対策について</li> </ul>
井上 進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街化調整区域における下水道のアクションプログラム変更</li> <li>・東日本大震災から10年 ～本当に大丈夫か四日市の防災～</li> </ul>
谷口 周司	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街化調整区域の住環境について</li> <li>・地域包括ケアシステムの基盤となる「三層構造」について</li> </ul>
平野 貴之	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんな幸せ スポーツまちづくり</li> <li>・文化が彩る まちの魅力</li> </ul>
三木 隆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍における、小中学生の心のケアについて</li> </ul>
諸岡 覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校指定用品の価格差について</li> <li>・市長選挙を振り返る～主権者教育の在り方～</li> </ul>

## 一般質問から

一般質問は、定例会月議会が開かれたときに、議員が議案に関係なく市政の諸課題や将来への展望等について市の考えをたずめます。

2月定例会月議会は、24人が一般質問を行いました。その中から主な質問と答弁の内容をご紹介します。

質問等の詳細については、市議会ホームページに掲載しています「インターネット録画中継」または「会議録（次の6月定例会月議会ごろに公開予定）」をご覧ください。

QRコードから各議員の質問の映像を見ることができます。（※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります）

### DV対策

## DV被害者に寄り添った相談体制の構築を



リベラル21  
後藤 純子



**議員** 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、不安やストレスによるDV（※1）被害が深刻化している。相談体制の強化や被害者支援の対策の充実が必要と考えるが、本市におけるDVの現状と今後の対応はどうか。

**市民文化部長** 令和2年度のDVに関する相談実人数は、前年同期比で約15%増え、今後も増加が見込まれる。引き続き相談体制の強化とともに、関係機関等との緊密な連携に努めたい。

**議員** 国の統計では、デートDV（※2）を受けた男女の約50%はどこにも相談できず、約25%は心身の不調を訴えている。中高生などの早い段階でデートDVに関する知識を得る必要があると考えるが、本市の考え方を確認したい。

※1 ドメスティックバイオレンス。配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった者から振られる暴力

※2 DVの中でも特に交際相手からの暴力。身体的な暴力だけでなく、精神的、経済的、性的な暴力も含む

**市民文化部長** デートDV対策の必要性を十分認識し、中学校や高校で出前講座を行っている。あらゆる暴力の排除に向け、子どもの発達や学習段階に合わせた内容の出前講座も行っており、今後も子どもたちへの取り組みを進めていく。

**議員** 国の相談窓口では、メールやチャットでも相談を受けている。コロナ禍を機に本市もメール等を活用した相談業務を行ってはどうか。

**市民文化部長** メール等を活用した相談の導入を検討したが、電話に比べ、状況把握や意思疎通、必要な人員の確保などに課題があり現時点では難しい。他都市の動向も踏まえ研究したい。

**議員** 国にはできない寄り添った相談ができる、本市独自の新たな取り組みを強く求めたい。

### スポーツ施設・こども・福祉

## 市民目線に立ち、一人一人に寄り添った政策を



リベラル21  
樋口 龍馬



**議員** スポーツ施設の利用料金にコンセントや設備機器の利用料金を含めることで、事務の省力化や利用者目線での料金の明瞭化が期待できるのではないかと考えるがどうか。

**スポーツ・国体推進部長** 省力化の効果は限定的で、パッケージ化の基準となる数量設定も難しいため、使用料を総合的に見直す際に検討したい。また、フリーWi-Fiについては、導入経費や通信速度の課題があることから、まずは、主催者用Wi-Fiを整備したうえで利用者ニーズや利用方法等と併せて検討する。

**議員** 次に、障害の早期発見、支援の取り組みとして、本市では5歳児保護者アンケートを実施し、U-8事業（※）につなげているが、支援に結び付いた数は十分ではないと考えている。以前から5歳児健診の実施を提案してきたが、医師等の確保が課題ならば、保育の現場に専門的な人材を配置し、子どもの障害の早期発見、支援に結び付けるべきではないか。

※四日市市発達障害等早期支援事業で、8歳以下の児童を対象に、ともだちづくり教室等の4つの教室を開催している

**こども未来部長** 来年度からアンケートに係る事務作業を委託することで、より専門性の高い業務に職員を注力させ、実効性を上げていきたい。また、保育現場への会計年度任用職員の採用や関係機関との連携を通じ支援の必要な子どもが適切な支援を受けられるよう努めていく。

**議員** 幼少期の支援はその後の人生に大きく影響する。障害の早期発見、支援に努めてほしい。



U-8事業で行う、ともだちづくり教室の様子

## 市主催行事 コロナ禍で市民イベントをどう支援していくのか



リベラル21  
小田あけみ



**議員** イベントを開催したいが新型コロナウイルスの感染者を出すことを危惧し、躊躇しているという声を聞く。商店街や自治会が主催するイベントの開催についての現状と今後の対応はどうか。

**商工農水部長** 令和2年度はコロナ禍で多くのイベントが中止となったが、国のガイドラインや県の指針に沿った感染症対策を行った上で実施された3件のイベントに対して支援した。商店街やまちの活性化につながるイベントに対して、引き続き前向きに支援していきたい。

**市民文化部長** 厳しい現状が続いているが、地域の大切な行事を継続するための支援に努めてきた。県の緊急警戒宣言解除後は、各地域の自

主性を尊重しながら、感染症対策に関する情報提供に努めていく。また、感染症対策を行った上で、地域イベント等が実施できるよう地域とともに考えながら対応を進めていきたい。

**議員** イベントの開催方法について主催者から相談がある場合の対応はどうか。

**商工農水部長** 他市の事例を情報収集しており、成功事例について紹介していきたい。

**市民文化部長** 他市町ではオンラインの活用など様々な工夫でイベントを開催した事例もあることから、取り入れることが可能な事例を地域で紹介するなど、引き続き支援していきたい。

**議員** さまざまな知恵を出し合い、イベント開催に対する支援をお願いしたい。

## 税 都市計画税の課税を停止し、市民の負担を軽減せよ



リベラル21  
竹野 兼主



**議員** 本市における都市計画税は、どのような事業に充てられ、課税対象はどのくらいであるか。また、本市の財政力は大きく改善していると考えが、財政力指数(※)の推移はどうか。

**財政経営部長** 公園、街路、下水道等のインフラ整備事業に充てており、課税対象者は事業の利益を受ける市街化区域に土地や家屋を所有する個人や事業者で、令和2年度は計10万1827人であった。また、財政力指数は、平成28年度に1を上回り、令和2年度は1.215と過去10年で最高値となった。

**議員** 本市の財政状況であれば、都市計画税の課税を一時停止しても、安定した自治体運営が可能と考える。また、都市計画税は任意課税で、

市の判断で課税を停止できる。コロナ禍の時期であり、約10万人の負担軽減につながるため、課税を停止すべきと考えるが、見解はどうか。

**財政経営部長** 課税停止すると安定的なインフラ整備が困難になる上、都市計画事業で利益を受ける市街化区域と利益を直接受けていない市街化調整区域との間で税負担の不公平が生じる恐れがある。コロナ禍の厳しい財政運営の中、一時的でも都市計画税の課税停止はできない。

**市長** コロナ禍で厳しい財政状況にある方を対象に支援を実施してきた。今後も状況を見定めて、必要なところに対策を講じていきたい。

**議員** コロナ禍が収束し、ある程度回復するまでの少しの間だけでも実現することを期待する。

※地方公共団体の財政力を示す指数。この値が1を上回ると普通交付税に頼らない自主的な財政運営が可能となる

## 高齢者対策 高齢者が地域で活動し、支え合う仕組みづくりを



市民eyes  
小林 博次



**議員** 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、高齢者は、健康づくりのための活動ができず、収入も減少するなど生活が厳しくなっている。有償ボランティア活動ができる仕組みができれば、高齢者がさまざまな活動に参加し、その活動に伴う収入も得ることができるのではないかと。

**健康福祉部長** 有償ボランティア的な活動として、本市が補助を行う介護予防・日常生活支援総合事業の住民主体サービスの中で、元気な高齢者が担い手となり、対価を得て活動する事例がある。高齢者が経験や能力を発揮して活躍することは、収入増に加え、やりがいや健康づくりにもつながるため、仕組みを研究したい。

**議員** 有償ボランティアの制度を整備して高齢

者の積極的な参加を促し、機能させることで、地域での助け合いの仕組みづくりにつながる。一人暮らしの高齢者が地域で安心して暮らすための見守り活動として、他市で実施するような、地域包括ケアシステムの仕組みを深化させた「声かけ・支え合い」の運動ができないか。

**健康福祉部長** 高齢者の心身の健康維持のためには、訪問による声かけは大変重要であり、現在も地域の関係者にさまざまな協力をいただいている。コロナ収束後においても、地域全体で高齢者を支える仕組みづくりは、高齢者が安心して生活できるまちをつくるために有効である。他市の事例を参考に、訪問による声かけをはじめとした見守り体制の充実を検討したい。

## 生活環境

### 市民の利便性を考えた環境整備を



政友クラブ  
笹井 絹予



**議員** マイナンバーカード(以下、カード)の普及促進について、本年3月から健康保険証としての利用も可能となるが本市の対応はどうか。

**健康福祉部長** 令和3年3月下旬から準備が整った医療機関等において、カードを健康保険証として利用できる予定である。本市としては、国民健康保険の加入者へ保険証切り替え時にカードの申請や保険証としての利用メリットを案内する文書を同封したところである。今後もカードの取得促進と保険証としての利用促進を図っていききたい。

**議員** 国は、令和3年9月にデジタル庁を発足させ、自治体の情報システムを統括し、行政サービスを抜本的に向上させるなどとしたデジタル

※インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差

改革の基本方針をまとめた。デジタル化の推進に向けて本市の取り組みはどうか。

**総務部長** 令和3年度には四日市市情報化実行計画の策定を予定しており、情報セキュリティ対策やデジタルデバイト(※)対策なども含めて推進していきたいと考えている。

**議員** 天白川におけるごみの不法投棄について、本市の取り組みはどうか。

**環境部長** 天白川の管理者である三重県へ早急な対応を申し出たところ、今後検討していくとの回答があった。本市は、不法投棄防止対策として監視パトロールを実施しており、今後も各管理者に対し適切な対応を求めるとともに、ごみの処理や処分について協力していく。

## 四日市市歌

### 市歌を活用したシティプロモーションを



政友クラブ  
中村 久雄



**議員** 四日市市歌を作曲した伊藤<sup>のぶゆき</sup>亘行さんの生誕100周年を祝う集いにおいて、有志の方々が撮影した本市の風景を背景に伊藤亘行さん本人が歌う市歌を合わせた映像作品が公開され、歌声も相まって素晴らしいと感動した。伊藤亘行さんは多くの校歌も作曲しており、市歌を聴いて郷愁を感じる方も多いと考える。市歌とさまざまな映像を組み合わせることで、本市が経験した公害の歴史や、それを克服してきた取り組みなどを広く発信できると考えるがどうか。

**シティプロモーション部長** 市ホームページにおいて市歌を鑑賞できるページを設けたほか、CDの配布や市庁舎での放送等、市歌を活用した取り組みを行っている。また、公害の歴史と

※都市に対する市民の誇る気持ち

本市の取り組みについては、市歌は使われていないものの、すでに四日市公害と環境未来館において映像作品を制作しており、団体の見学者にご覧いただいているほか、学校向けにDVDの貸し出しも行っている。市歌と組み合わせたシティプロモーション映像を制作する予定はないが、市歌をはじめとする本市の貴重な地域資源を活用して、シビックプライド(※)の醸成やシティプロモーションに取り組んでいきたい。

**議員** 本市は子育て世代を呼び込むために、若者向けのコンテンツを展開しているが、本市出身の中老年世代等への働きかけとして市歌の活用は期待できる。市歌も活用しながらシティプロモーションに取り組んでほしい。

## そらんぼ四日市

### 総合的な理念を掲げ、一体化した施設運営を図れ



政友クラブ  
笹岡秀太郎



**議員** そらんぼ四日市は、本市の博物館とプラネタリウム、四日市公害と環境未来館の総称であるが、博物館とプラネタリウムは教育委員会、四日市公害と環境未来館は環境部が所管するため、全体の責任者が不在となり、組織の幹が見えない。そらんぼ四日市として広く市民に愛されるには、一体化した運営を行い、総合的な理念を再設定する必要があるのではないか。

**副教育長** 「四日市の過去と現在を知ることで未来の四日市を考え、また、四日市から日本やアジア、地球や宇宙を考える」という、そらんぼ四日市のコンセプトのもと、両館で定期的に会議を行い、見学者への説明を一体的に行うなど、全体での運営に努めてきた。今回の指摘を受け

止め、一体的な運営を常に意識していく。

**議員** 時代や利用者のニーズに合わせるため、そらんぼ四日市にもキャッシュレス決済を導入すべきではないか。また、コロナ禍にかかわらず、施設の抗菌化を進めるべきではないか。

**副教育長** キャッシュレス決済は全市的な課題として内部検討を進めるところである。また、感染症対策については、施設管理者として基本的な対策の徹底に努めたい。

**議員** 博物館所蔵品や研究成果の市民への還元が望まれるが、どのような方法を考えているか。

**副教育長** 館内展示以外に、テレビへの資料映像の提供、ホームページでの公開などの手法を通じて多くの方に見てもらえるよう努めたい。

## ごみ処理施設

## 北部清掃工場の解体撤去について住民へ説明せよ

政友クラブ  
荻須 智之

**議員** 北部清掃工場(以下、工場)が稼働停止をしてから5年が経とうとしているが、工場の解体工事について地域住民への説明がなされていない。当該施設にはアスベストが含まれている可能性が高く、その飛散を地域住民は心配している。解体工事について説明がなされていないのはなぜか。また、今後どのように解体工事を進めていくのか。

**環境部長** クリーンセンターにおけるごみ処理が軌道に乗った段階で、工場の解体準備に着手したいと考えていたが、まずは老朽化した浸出水処理施設の更新を先行することとした。工場の解体については、推進計画事業に位置付け着実に進めることとし、令和3年度にアスベスト

やダイオキシン類等の調査を実施し、令和5年度には解体工事に着手したいと考えている。今後、有害物質に係る調査の結果がまとまり次第、地域住民に丁寧な説明を実施するとともに、関係法令を遵守の上安全な施工に努めていく。

**議員** 解体工事について国の補助を受けるには、跡地への廃棄物処理施設整備が条件であると聞くと、地域住民からは施設整備に反対する声もある。クリーンセンター建設時に地域と約束した(仮称)大矢知中学校の建設がなされていないためであるが、市長の考えはどうか。

**市長** ごみ処理行政と教育行政を混ぜて考えるべきではないと考えている。解体工事については、十分説明を行い丁寧に進めていきたい。

## 羽津古新田

## 有効な土地利用のために道路整備方針を示せ

政友クラブ  
森 康哲

**議員** 羽津古新田は、本市が貨物ヤードの移転候補地として先行取得した土地と農地として生産緑地に指定されている土地が混在している。令和3年度からは生産緑地の見直し手続きが始まるが、市道三重橋垂坂線の整備について具体的な情報がない中では民間での開発が参入しづらく、土地所有者は生産緑地を継続するかどうか判断できずに困っている。行政として三重橋垂坂線の整備の見通しを示すべきではないか。

**都市整備部長** 10年ごとに更新できる特定生産緑地制度が創設されたことに伴い、令和3年度から当制度に係る手続きを順次進めていく。羽津古新田の地権者にとって、三重橋垂坂線の整備の見通しが大きな判断材料になると認識して

おり、同路線を道路整備方針の検討路線に位置付け、国道23号への接続や JR関西本線との立体交差等、さまざまな検討や関係機関との協議を進めている。国道23号への接続については概略設計を進めながら国土交通省との協議に取り掛かっており、令和3年度予算に三重橋垂坂線に係る設計や都市計画変更手続きに係る予算を計上している。できるだけ早期に羽津古新田の地権者の皆様に三重橋垂坂線の整備方針を示し、特定生産緑地制度の説明と併せて羽津古新田の土地利用について協議していきたい。

**議員** 今後の10年間を決める重要な時期であり、民間事業を誘致するためにはスピード感をもって事業を進め、その方向性を示すべきである。

## 採用

## 館副市長の採用問題

政友クラブ  
小川 政人

**議員** 館副市長が同期と同じ採用試験を受けていないことは分かっている。当時の決裁文書を見ると、東京時代にスカウトして了解を得たから小論文と面接をしたと書いてあった。「面接結果とか小論文はありますか」と聞くと、人事課長はないと言ったが、総務部長はあると言う。それは本当か。

**総務部長** 小論文は存在している。

**議員** 副市長の名誉のために出したらいい。他の同期と一緒に採用試験ではなかったのか。あなたの方でルートを作って、そのように学科試験が免除になったのか教えてほしい。

**館副市長** 入庁する前の話であり、分からない。

**議員** なぜ学科試験を免除されて採用されたの

か分からないはずはない。

**館副市長** 私からは一切していない。

**総務部長** 職員の採用は、書類選考と面接だけでも可能であり、採用方法は法的には問題ない。

**議員** 選考の決裁文書では、国土交通省の外郭団体に勤めている館英次氏から内諾を得たとなっている。館副市長は、「東京にいるときに市役所に就職するという気持ちは決めていなかったが、四日市へ帰ってから、市役所へ入りたいがどうだろうと言う相談を父にした」という。決裁文書は信用できない。前回、父が元市議に相談した可能性はあると答弁した。

**館副市長** 非常に不正確なところが多くあり、私のプライベートについては答弁を控えたい。

## 環境

# 再生可能エネルギーを活用した公共施設を整備せよ



政友クラブ  
伊藤 嗣也



**議員** 電気自動車の普及が進む中、脱炭素社会の実現のためには、行政の果たすべき役割として再生可能エネルギー(※1)を活用した公共施設でのインフラ整備が必要ではないか。

**環境部長** 電気自動車の動力の元となる電気を再生可能エネルギーで賄うことは課題と認識しており、電気自動車の普及と併せて取り組む。

**議員** クリーンセンター(廃棄物処理施設)でごみの焼却時に発電している電力を有効活用した電気自動車の充電設備を整備してはどうか。

**環境部長** 公用車への電気自動車の普及と併せて、クリーンセンターでの充電設備の整備について関係者と協議して進める。

**議員** 現在、小・中学校8校に設置している太陽光発電設備の整備促進に加え、災害情報の収集に不可欠なスマートフォン等の充電設備の導入など、災害対応やエネルギーの地産地消(※2)の点から、すべての公共施設に発電と併せて蓄電の設備を積極的に整備すべきではないか。

**環境部長** 発電した電気を蓄える蓄電池は、防

※1 太陽光や風力といった自然エネルギーなどで、資源の枯渇を伴わず、持続的に利用できるもの

※2 地域で発電したエネルギーを地域で消費すること

災面からも非常に有効であることから、再生可能エネルギーを利用した発電設備と、蓄電池の導入について庁内での議論を加速させる。

**議員** 環境施策の推進のためには、市長の強力なリーダーシップの下、人員と体制を強化して、オール四日市での取り組みが重要ではないか。

**市長** 第4期環境計画をしっかりと策定し、その目標達成に向けて市役所一丸で取り組む。



再生可能エネルギーを活用した電気自動車の充電設備

## 防災対策

# 避難行動要支援者の避難支援対策を急げ



公明党  
山口 智也



**議員** 近年激甚化する自然災害では、高齢者や障害者等の避難行動要支援者が逃げ遅れ、犠牲になるケースが後を絶たない。避難行動要支援者名簿(※1)や個別計画(※2)について、制度の周知強化が必要と考えるがどうか。また、避難行動要支援者名簿を活用した各地区の避難訓練の推進や個別計画を確実に更新するための仕組みを検討すべきと考えるがどうか。

**危機管理監** 避難行動要支援者制度については、地区からの要請に応じて説明に出向くなど周知啓発に取り組んでいるが、今後は広報よっかいちの防災特集号や出前講座などの機会を捉え、本制度の周知を図っていきたい。また、避難訓練については、避難行動要支援者名簿や個別計画の活用事例を市民総ぐるみ防災訓練などの機会を通じて紹介し全市民的な取り組みにつなげるとともに、個別計画の更新については、関係機関と協議しながら有効な手段を検討していく。

**議員** 個別計画の作成の進捗状況は地区によって差があるため、浸水想定区域や一人暮らしな

どの優先度、危険度の高い住民については、各地区と連携し早期に個別計画を作成していくべきと考えるが、本市の今後の方針を確認したい。

**危機管理監** 国においても個別計画の取り組みを強化する検討が行われている。その動向を注視しつつ各地区の課題となっている事項を聞き取りながら、個別計画の作成が進むよう引き続き市として適切な支援を行っていきたい。



避難訓練においても避難行動要支援者名簿等の活用が求められる

※1 災害対策基本法に基づき、災害が起こった時に自力で避難することが難しく、支援を必要とする方々を登録しておく名簿

※2 災害時の避難支援等を実効性のあるものとするために、一人ひとりの避難方法を策定する計画

## 人口減少問題

## 人口減少を前提とした都市のあり方を追求せよ

無所属  
森川 慎

**議員** 全国的に人口が減少する中、人口を増加させる政策を推進するよりも、人口減少、低成長を前提にした行政運営へ転換していくべきと考える。本市の将来人口はどのくらいを想定しており、人口減少にどう対策していくか。

**政策推進部長** 本市の人口ビジョンでは、出生率向上や人口流入を見込まずに2060年には22万人と推計されるが、本市が目指す社会増を見込み、28万人を維持することを目標としている。同時に、人口増や経済成長を前提としたまちづくりから脱却し、人口減少の課題を乗り越えるべく、市民、事業者と協力していく。

**議員** 本市では、シティプロモーションで市外から人を呼び込むような、社会増に重きを置いて、今後も人口減少の対策をしていくのか。

て、今後も人口減少の対策をしていくのか。

**政策推進部長** 子育て施策の充実や、産業振興、都市機能の高次化によって、本市に住む魅力を高めることにより、社会増、自然増を問わず、人口を維持する取り組みにつなげていく。

**議員** 人口減少による税収減が避けられない中、どのように税収を確保していくのか。また、売電収入などの自主財源の確保も重要ではないか。

**財政経営部長** 市税収入を支える産業の維持、雇用確保のため、新たな時代に対応した産業政策に取り組んでいきたい。また、広告収入などの多様な自主財源の確保に努めていく。

**議員** 人口減少や低成長を前提にした都市運営を追求し、早期に方向転換することを要望する。

## 教育

## 多様な個性に応じたきめ細かい教育の実現を

公明党  
森 智子

**議員** 国の方針を受けて、県は、現在の小学1、2年生の少人数学級に加え、令和3年度から小学3年生で35人学級を行うことを発表した。学級増に対応した教室や教員の確保は十分か。

**教育長** 市内7校の学級増を見込んでいるが、教室は少人数教室の転用等で確保できる見通しである。学級担当は各校の少人数授業担当や専科担当の教員から選んで、学級増に対応する。

**議員** 令和4年度以降は、段階的に小学4年生から6年生にも35人学級を広げることが想定されている。さらなる学級増に伴って教室や教員が不足する課題をどのように解決していくのか。

**教育長** 令和6年度に小学校全学年で35人学級が行われると、市全体で30学級が増える。令和

5年度以降に1校、令和6年度以降に2校で教室不足が予想されるが、当該年度までに必要な教室数を確保する。また、必要な教員が不足なく配置されるよう県教育委員会に強く要望する。

**議員** 令和4年度をめどに小学校高学年の教科担任制を導入する方向性を国が示しているが、本市での導入をどのように進めていく考えか。

**教育長** 各学校の実態に応じ、現在も行っている少人数授業や習熟度別授業を織り交ぜ、学びの質がより一層高まるような教育課程のあり方を考えて教科担任制を進めていく。また、必要な人的配置を国や県に積極的に要望する。

**議員** 少人数学級や教科担任制の長所を生かし、誰一人取り残さない教育を実現してほしい。

## パートナー制度

## 誰ひとり取り残さないやさしい制度を目指して

公明党  
荒木 美幸

**議員** 県が制定を進める「性の多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例案(※)」の趣旨に基づく要綱案にはパートナーシップ制度が明記されることになったが、この取り組みに対する本市の関わりはどうか。

**市民文化部長** 本市としても、性の多様性に関する取り組みを総合計画の基本的政策に位置付けるなど、重要性を認識している。今後開催される、パートナーシップ制度の導入、運用に向けた県と市町との連携会議や制度設計にかかる作業部会に本市も積極的に参加し、利用する方に寄り添った制度となるよう取り組んでいく。

**議員** パートナーシップ制度の導入により、当事者である市民はどのようなことを享受できる

のか。また、当制度導入に向けて本市はどのような組織体制で対応していくのか。

**市民文化部長** パートナーシップ制度のもと、公的機関が当事者間の関係性を証明することで、住宅の入居や医療機関での身内としての扱いなど、さまざまな社会的サービスが受けられるようになる。性の多様性に関する諸課題は多岐の分野にわたるため、これまで複数の部局が関わってきたが、県や同格他市の状況を見ながら、適切な組織体制を調査研究していく。

**議員** パートナーシップ制度の導入は、性的違和を抱える方々の存在を正しく認めることであり、「誰ひとり取り残さない」という理念にも通ずる。温かい制度となるよう期待している。

※令和3年三重県議会定例会2月定例月議会において可決。令和3年4月1日施行

## 保健所

# 保健師を増員し、コロナに負けない体制を整備せよ



公明党  
樋口 博己



**議員** 保健師は公衆衛生、地域保健の専門家であり、新型コロナウイルス感染症対策の中心的役割を担っている。本市の保健所に在籍する保健師35名のうち24名は兼務職である。本市の保健所の体制強化が必要と考えるがどうか。

**総務部長** コロナ禍による保健師の負担増に対応するため、令和2年度は採用試験を2回行い、過去の採用規模以上の保健師の採用を見込んでいる。今後も計画的に増員を行っていききたい。

**議員** 保健所職員の心身のヘルスケアについて、本市ではどのように支援していくのか。

**健康福祉部長** 保健師が本来の業務に専念するための応援体制の確保のほか、陽性患者が確認された際には、チーム対応とすることで、多面

的な検討ができるとともに、個人での対応よりも精神的な負担を軽減することにつながっている。

**議員** 四日市看護医療大学の奨学金制度では、市内医療機関への5年間の勤務が返還免除の条件となっている。医療機関に限らず、保健師としての勤務も条件に追加すべきではないか。

**健康福祉部長** 医療機関の看護師の充足状況も踏まえ、市の保健所への勤務年数も返還免除の要件に追加するよう改めて検討していきたい。

**議員** 新型コロナウイルス感染症の後遺症を心配する声もあるが、どのように対応しているか。

**健康福祉部長** 退院時に、自身の健康観察をお願いするとともに、できるだけ気軽に相談できるように形で言葉を掛けるようにしている。

## 教育

# 学校に行きたい生徒が通学できる体制整備を



日本共産党  
太田 紀子



**議員** 全国的にも不登校の児童生徒数は依然として高い水準で推移している。令和元年10月に文部科学省からは「不登校児童生徒への支援のあり方について」という通知が出され、これまで記載のあった「学校復帰」という文言が一部削除された。これまで学校復帰を前提として多くの取り組みがなされてきたが、本市はこの通知をどう捉えているのか。

**教育長** 不登校児童生徒は学習への意欲や心の安定などの状況が異なるため、個別指導計画を作成する必要がある。本市としては、この通知も踏まえ、個々のニーズに応じた個別指導計画の作成に努めるとともに、学校外の公的機関である登校サポートセンターや民間施設、ICT等を活

※学校に行きたいが教室に入れない生徒に対して学習機会や居場所の確保などを目的として設置した教室

用して学習を行う不登校児童生徒に対して、社会的自立に向けた支援を行っている。

**議員** 文部科学省からの通知を受けて、本市における新たな取り組みはどうか。

**教育長** 令和2年度から、中学校への校内ふれあい教室(\*)の設置を進めている。現在3校に設置しており、出席日数が増えるなど好ましい変化が見られている。令和4年度までに不登校生徒の多い中学校9校まで段階的に増設する計画であり、全中学校への配置については今後効果検証を行い、不登校生徒数の推移や教室設置のニーズ等を見て、十分検討していく。

**議員** 学校に行きたいすべての生徒が通学できるように必要な中学校への増設を検討してほしい。

## 防災対策

# 行政が主体的に責任を果たし地域の自助力を高めよ



日本共産党  
豊田 祥司



**議員** 地域の防災活動に関し、本市が地域に何を求めているのか具体的に示す必要がある。災害時には行政と地域が的確に役割を分担して初動体制をとり、指定避難所の開設や運営が適切に行われるよう、本市が平時から時系列での計画を策定し、地域に説明すべきではないか

**危機管理監** 地域の自主防災組織は、公助を届ける前の自主的な共助の防災活動を担っていたであり、市はその活動を支援している。平成27年度に自治会、自主防災組織と協働して避難所運営の手引を作成し、指定避難所の開設や運営の役割分担を時系列で地域に示している。

**議員** 各地区で防災物品を購入する際、費用の半分を市が補助する仕組みが現在はあるが、地

区の負担を軽減するか、真に必要な物品は全額補助するような行政の支援が必要ではないか。

**危機管理監** 情勢の変化などを注視しながら、今後も本市の支援のあり方を検討していく。

**議員** 携帯電話等を所有しない避難行動要支援者が緊急告知ラジオを購入する際、令和3年度から1割の自己負担が必要となるが、セーフティネットの観点から無償貸与すべきではないか。

**危機管理監** 普及が進む携帯電話等で災害情報を入手する場合に一定の費用負担が生じる中で、緊急告知ラジオの購入者にも比較的安価に入手いただけるよう検討した結果、1割負担とした。

**議員** 自助力を高めるのは行政の仕事である。行政の責任で市民の生命と財産を守ってほしい。

## 下水道

## 市街化調整区域における下水道整備を問う

新風創志会  
井上 進

**議員** 昨年、市街化調整区域における生活排水処理施設整備計画の変更が行われた。市街化調整区域の人口減少、高齢化が進んでいることから、公共下水道整備よりも合併処理浄化槽の整備の方が利用者にとって有利になるとのことだが、改めてその根拠を確認したい。

**上下水道事業管理者** 市街化調整区域について、整備手法の検討を行った結果、合併処理浄化槽による整備が公共下水道で整備するよりも優位となった。また、今後は公共下水道整備への国庫補助制度の見直し等が見込まれている。公共下水道で整備するには下水道料金の値上げまたは一般会計繰入金の増加が必要となることなど、総合的に検討を重ね、公共下水道区域から合併

処理浄化槽区域へと計画を見直すこととした。

**議員** 今回の計画見直しについて、市街化調整区域に暮らす住民への説明は行われたのか。

**上下水道事業管理者** 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、各地区の自治会へ資料を送付し、パブリックコメントを行ったが、議会からも住民への丁寧な対応を求める意見があり、今後も引き続き丁寧に対応していきたい。

**議員** 浄化槽からの処理水が個人の側溝に流れるなど、整備されていない地域がある。合併処理浄化槽推進にあたっては、他部局とも連携し、排水路の整備に取り組むべきと考えるがどうか。

**上下水道事業管理者** 側溝等の整備については都市整備部と連携、調整し対応していきたい。

## 市街化調整区域

## 住民の信頼、期待に応えるまちづくりを

新風創志会  
谷口 周司

**議員** 生活排水処理施設整備計画の見直しにあたり、十分な地元説明の不足により、地域の混乱や疑問を招いている。地元住民への丁寧な説明は必須である。また、生活排水が農業用水に流入している現状をどのように考えるか。

**上下水道事業管理者** 公共用水域の水質悪化を防ぐためにも、地域への丁寧な説明や全庁的な課題検討に努めてまいりたい。

**議員** 過去に何度も越水している朝明新川について、今後どのように整備していくのか。

**都市整備部長** 河川能力向上のため、上流部の底張コンクリート工事を進めており、地元が求める屈曲部の対策も検討を行っていく。また、災害予防のため、ライブカメラを令和3年度に

設置できるよう取り組みを進めていく。

**議員** 市長の所信において、農村集落の活性化に向けた土地活用の規制緩和とあるが、具体的にはどのような取り組みか。また、市長の市街化調整区域に対する思いを聞かせてほしい。

**都市整備部長** 市街化の抑制という市街化調整区域の前提は考慮しつつ、まちづくり計画に基づく既存の空き家等の活用や鉄道駅周辺の一定の土地利用を許容する制度づくりを進め、農村集落の維持活性化に向けて取り組んでいく。

**市長** 中心市街地の再開発とともに、郊外部の農村集落の特性を生かした持続可能なまちづくりが必要である。農村集落の活性化のため、インパクトのある施策を検討していきたい。

## 産業・文化

## 世界に向けて地場産品を発信せよ

新風創志会  
平野 貴之

**議員** 長く自粛生活が強いられる中で、人々の心に安らぎと彩りを与える文化活動は重要性を増している。国は文化経済戦略を定めており、本市も四日市市文化振興ビジョンの中で地域の個性や魅力の礎となる文化の醸成を図っていくこととしている。文化を取り入れることで市民生活はより奥深く、企業活動はより創造的になっていく。文化政策において地場産品は重要だが、国内市場の縮小などにより海外展開が求められている。佐賀県の有田焼や滋賀県の近江の麻織物は、海外の見本市に出展し知名度を高めている。本市でも行政が地場産品をけん引し、海外展開を促していくべきと考えるがどうか。

**商工農水部長** 本市では、地場産品をはじめ、

中小企業の海外展開を支援するため、海外の見本市や商談会などへの出展に係る経費を補助している。今後、JETRO(※)などの事業や他市事例を研究し、地場産品の今後の海外展開について、業界団体とともに取り組んでいきたい。

**議員** 国外の芸術家を招いて、地場産品の職人と連携することで新たな製品を生み出している例もある。コロナ後に向けて準備を進めてほしい。一方で、文化政策を進めるには、行政、地域、芸術家、企業をつないで調整する人材育成が不可欠である。また、図書館や病院などにアートを取り入れて、多くの市民に芸術に関心を持ってもらうことも重要だ。今後も十分研究し、幅広い文化政策に取り組んでほしい。

※独立行政法人日本貿易振興機構。海外ビジネス情報の提供、中堅・中小企業等の海外展開支援、対日投資の促進などに取り組んでいる

## 新型コロナウイルス 小・中学生の心のケア対策を推進せよ



新風創志会  
三木 隆



**議員** コロナ禍の状況下で、小・中学生にとってストレスのたまる状況が今後も続いていく。児童生徒の心のケアについて、臨時休校中や学校再開後の取り組みはどうであったか。

**教育長** 臨時休校中は、児童生徒の家庭での生活や学習の状況把握に努め、学校での一時預かりなどの支援も行った。学校再開後は、すべての小・中学校の児童生徒へのアンケートにより悩みや不安を把握し、不安のある児童生徒にはカウンセリングを実施した。また、差別防止の学習などにより、新型コロナウイルスに対する不安解消に努めてきた。今後も学校と連携し児童生徒の心のケアを早期に行っていく。

**議員** チーム学校推進事業における支援体制、また、スクールソーシャルワーカーの活用について、現在の取り組みと今後の方向性はどうか。

**教育長** 心理、福祉、法律などの専門職と連携し、チーム学校として、複合的で多様な問題を抱える児童生徒や家庭への支援を推進している。スクールソーシャルワーカーを5つの中学校区へ

の週1日程度配置するほか、学校からの依頼により派遣を行っており、専門的見地から関係機関と連携を図り、児童生徒、家庭を支援している。令和2年度の派遣件数は1月末時点で前年度の約2倍の323件であった。今後は配置する中学校区を増やすなど支援を充実させていく。

**議員** コロナ禍で大変な状況が続く中、児童生徒の心のケアのため施策を推進してほしい。



法律の専門家スクールロイヤーがいじめ予防授業をする様子

## 教育

### 学校指定物品の価格差(最大2倍)を解消せよ



新風創志会  
諸岡 覚



**議員** 小・中学校の学校指定物品は各校によって価格差があり、中には約2倍の差が生じている物もある。この価格差是正のため、入札や見積り合わせ、また、仕様書の見直しを行い、保護者に市内の価格差を公表すべきと考える。

**副教育長** 本市では、「学校指定物品取り扱いガイドライン」に沿って学校指定物品の検討や見直しを図っているが、制服については要望が多様化していることから、現在多くの中学校で複数業者が複数の価格の選択肢を用意している。今後も、市内の平均的な価格帯よりも高額な制服のみを指定している学校には、仕様の見直しや販売業者の競争の促進を検討するよう促していく。ジャージについては、来年度から学校が販売業者に市内の価格状況を伝え、仕様の見直しによる価格抑制の取り組みを促していく。また、情報開示については、PTA総会や保護者向け文書を通じて、市内の状況や当該校の価格、選定理由等の周知を図っていきたい。

**議員** 品質の違いによる価格差があることは理

解するが、複数の選択肢がある中でも、最低価格は市内で同程度とするべきではないか。

**副教育長** 制服については学校によって付属品や素材の違いがあるが、市内各校を比較して今後検討していく必要があると考える。情報公開を行いながら、是正するよう進めていきたい。

**議員** 保護者や子どもたちにとって平等な教育環境を提供していく努力をお願いしたい。



学校指定物品の価格差の是正が求められる

## 議会報告を動画配信しています

2月定例会議会での議論の内容をYoutubeで配信しています。

今回は、4つの常任委員会ごとに報告を行っています。どのような議論があったのか、そして令和3年度予算編成はどのような内容なのか、議員が詳しく説明していますので、ぜひご覧ください！



各委員会で  
工夫を凝らして、  
撮影を  
行いました！



動画は、こちらのQRコード  
からご覧いただけます。



## 6月定例会議会の議会報告会の予定

6月定例会議会の議会報告会を7月6日に開催します（詳細は下記参照）。

今回は、4つの常任委員会が合同して一つの会場で行います。事前申し込みは不要ですので、お気軽にお越しください。

※新型コロナウイルス感染症の状況や天候等により、中止や開催方法の変更をさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<b>第1部：議会報告会 第2部：シティ・ミーティング(意見交換会)</b>	
日 時	<b>令和3年7月6日(火) 18:30~20:00</b>
会 場	<b>総合会館 8階 視聴覚室(四日市市諏訪町2番2号)</b>
シティ・ミーティング テーマ	<b>四日市市政全般について</b>

※頂戴するご意見は、口頭によるものを基本とします。 ※手話通訳いたします（事前予約は不要です）。

※進行状況によっては、記載された予定時刻よりも早く終わる可能性があります。

※開催3時間前に、大雨、暴風、大雪、津波のいずれかの警報が発表された場合、あるいは開始3時間前の時点で短時間のうちに各警報が発令される可能性が高いと認められる場合、また市域に震度4以上の地震が発生した場合は、開催を取り止めとさせていただきます。なお、開催を取り止める場合は、市議会ホームページやフェイスブック等でお知らせいたします。

※お車でお越しになる方は、市営中央駐車場に駐車してください。

## 人事案件

### ●固定資産評価審査委員会委員

山下 淳(再任) 赤堀南町

### ●人権擁護委員

河邊 毅寿(再任) あがたが丘二丁目

浜地 克(新任) 坂部台二丁目

## 選挙

### ●選挙管理委員

渡邊 八尋(再任) 三ツ谷町

伊藤万里子(再任) 大井手一丁目

毛利 彰男(再任) 尾平町

三田 泰雅(新任) 西富田町

### ●選挙管理委員補充員

今尾すみ江(再任) 諏訪町

萩 典子(新任) ときわ五丁目

伊藤 重夫(再任) 桜台一丁目

中谷 節子(新任) 桜花台一丁目

## 高校生からの意見書について ~各常任委員会からのコメント~

### 環境保全・ごみ問題

- プラスチックごみに関する市民や企業の具体的な取り組みについてよく考えられている。
- ペットボトルのデポジット制、高齢者等のごみ出しが困難な世帯への課題等について、若い世代もかかわっていききたいという意見があり参考になった。

### 複合災害対策

- 避難方法に、「ホテルやテント泊」が盛り込まれていて、良い視点であり、参考にしたい。
- 感染症が流行する中での避難所運営において、保健師の十分な数の確保が必要という意見は、今後しっかりと反映させていきたい。

### 地域活性化

- フォトコンテストの開催は市民全員参加型のSNSを活用したイベントを行う良いアイデアである。
- 三重県全体を巻き込んだ観光施策を行う意見があり、本市も総合的な面と各論的な面とを切り分けて観光施策を展開していかなければいけないと感じた。

3月30日に総務常任委員会を開催し、所管事務調査を行いました。複合災害対策について、委員と行政側で議論しました。  
4月19日に都市・環境常任委員会を開催し、意見書の内容を踏まえたプラスチックごみ対策について議論しました。



## あとがき

1年間皆さんに市議会の取り組みをお知らせしてきましたが、次号から広報広聴委員会は新しいメンバーに変わります。令和2年度は、表紙写真を高校生とともに作成するなど、初めての企画もありましたがいかがでしたでしょうか。

今後の編集の参考とするため、ご覧になったご意見、ご感想などをお寄せください。今後も「よっかいち市議会だより」をご愛読いただきますようお願いいたします。

### 広報広聴委員会

(○委員長 ○副委員長)

- 早川 新平
- 村山 繁生
- 伊藤 昌志
- 太田 紀子
- 後藤 純子
- 笹井 絹予
- 平野 貴之
- 山口 智也



## 5月開会議会の予定

5月開会議会は、5月17日(月)、18日(火)に開催する予定です。

5月開会議会では、議長・副議長の選挙をはじめ、各常任委員会委員の選任などを予定しています。

※日程・内容は予定のため、変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### ご意見・ご感想などのあて先

〒510-8601四日市市諏訪町1番5号 四日市市議会事務局  
Tel059-354-8340 Fax059-354-8304

Eメールアドレス shigikai@city.yokkaichi.mie.jp

ホームページ

発行/四日市市議会

編集/広報広聴委員会 四日市市諏訪町1番5号

